

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第6号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年1月13日 06時35分ごろ	
発生場所	関門港小倉区砂津航路 福岡県北九州市砂津防波堤灯台から真方位036°530m付近 (概位 北緯33°53.9' 東経130°53.8')	
事故等調査の経過	平成23年1月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 長栄丸、490トン 船舶番号、船舶所有者等 132684、株式会社黒田汽船	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗船し、平成23年1月13日06時20分ごろ、砂津航路を航行中、06時30分ごろ、主機冷却海水ポンプ吐出配管に腐食破孔を生じ、海水が噴出し始めた。</p> <p>船長は、機関長から主機を停止する旨の報告を受けたことから錨泊するため、左舵を取って残速で砂津航路から西側の広い海域に向かったところ、06時35分ごろ、浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、11時30分ごろ、タグボートにより離礁して錨泊し、12時00分ごろ、破孔配管を新製配管と交換した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.2～0.5m</p>	
その他の事項	<p>機関長は、主機冷却海水ポンプ吐出側配管が腐食によって破孔を生じ、同部から噴出する海水が付近の電動機に降りかかるおそれがあったため、主機を停止した。</p> <p>船長は、本事故当時、砂津航路西側の海域に浅瀬があることを失念していた。</p> <p>本船出港時の喫水は、船首が約3.10m、船尾が約4.30mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、砂津航路を航行中、船長が、主機冷却海水系統の配管に腐食による破孔を生じたことから錨泊しようとした際、浅瀬の存在を失念し、浅瀬に向けて左転したことから、乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が砂津航路を航行中、船長が、主機冷却海水系統の配管	

	<p>に腐食による破孔を生じたことから錨泊しようとした際、浅瀬の存在を失念し、浅瀬に向けて左転したため、乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
--	---